

平成28年度 学校自己評価システムシート (県立寄居城北高等学校)

目指す学校像	将来、社会に貢献できる人材を輩出し、地域に信頼される学校となるため、総合学科の特色を生かした教育を実践し、知・徳・体のバランスのとれた力を身につけた生徒の育成に取り組む。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 系列の特性を生かした教育を実践し、確かな学力の育成と資格の取得に取り組む。 2 部活動や学校行事などの特別活動を通して、規律ある態度を身につけ、心身ともに健全な生徒の育成に努める。 3 インターンシップ等の体験活動を通して、進路意識の醸成を図り、生徒の適性や希望に応じた進路実現に努める。 4 積極的な情報発信を通して、保護者や地域から共感を得られる魅力ある学校づくりを進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	13名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月3日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	授業改善への取り組みにより、成績不振者が減少する等、学力向上の成果は見られる。しかし、今後も、きめ細かな学習指導と家庭学習の徹底と確保が必要である。また、資格取得をとおして、学習意欲や学力の向上に繋げる。	・授業の工夫・改善や学習時間の確保、資格取得により、基礎学力を定着させるとともに、学習意欲や学力を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中のマナーやルールをさらに周知し、指導を徹底させる。 ② 分かる授業を実施するとともに、習熟度別授業や少人数クラス等の特色を生かし、学力向上に繋げる。 ③ 教員が相互に参観できる授業研究を行い、指導力を向上させる。 ④ 家庭学習時間を確保する。 ⑤ 資格取得者を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業中のマナー等指導が徹底できたか。 ② 成績不振者は減少したか。習熟度別授業や少人数クラス等を生かし、学力向上の成果が上がったか。 ③ 教員が相互に参観できる授業研究を行い、教員の指導力を高め、生徒の学力向上に繋がったか。 ④ 家庭学習が十分にできたか。 ⑤ 資格取得者が増えたか。 	授業への取組等概ね達成 ①授業中のマナー等は、約90%が順守していると回答。 ②成績不振者は昨年と比べ減少していない。習熟度別授業により、「よく分かった」が51.5~68.5%という回答。 ③教員が相互に参観できる授業研究は実施できた。 ④家庭学習をしている生徒は約30%で、昨年比やや増。 ⑤昨年比、資格取得者はやや減少している。(商業)	B	<ol style="list-style-type: none"> ①授業中のマナーの徹底は、学力向上に繋がる大事な要素であり、継続した取組が必要である。 ②③今後も習熟度別学習や教員の授業研究による授業力向上等を活用し、学力向上に繋げたい。 ④家庭で学習する時間を確保し、取り組むよう継続した指導が必要である。 ⑤資格取得は、学習意欲の向上や基礎学力の定着等に向けて、今後ともきめ細かで徹底した指導の必要がある。
2	きめ細かで徹底した生徒指導・整容指導により、生徒指導件数も減少している。遅刻者数については、やや増加している。さらに徹底した指導が必要である。学校行事や部活動、ボランティア活動をとおして、高校生活を充実させ、バランスのとれた生徒の育成に繋げる。	・基本的生活習慣を身につけさせるとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動を活性化させ、学校生活の充実に繋げる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 月1回のマナー学習を行い、挨拶や言葉遣い、遅刻の指導をさらに徹底する。 ② 部活動やボランティア活動への積極的参加を呼び掛ける。 ③ 文化祭等の学校行事を充実させ、達成感・成就感を味わわせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 月1回のマナー学習が実施できたか。活発な挨拶が行われ、マナーが定着し、遅刻者が減少したか。 ② 部活動やボランティア活動への参加者が増えたか。 ③ 充実した文化祭等の学校行事が実施できたか。 	整容や挨拶等概ね達成 ①月1回のマナー学習により、マナーは定着した。挨拶は、71%以上の生徒ができたという回答、遅刻者は変化なし。 ②多くの生徒は、部活動やボランティア活動の意義を十分に理解しているが、積極的な参加者は約50%である。 ③充実した体育祭や文化祭等の学校行事が実施できた。積極的な参加がみられた。	B	<ol style="list-style-type: none"> ①マナーの定着や挨拶は、徹底されたが、遅刻者の減少は次年度への大きな課題である。 ②一部の部活動では、大きな成果を上げることができた。今後は、更なる継続と充実、参加生徒の増大が課題である。 ③学校行事は年々充実している。今後は、生徒の誇りと本校の魅力となるよう発展・充実させたい。
3	系統的進路指導等により、進路意識が向上し、就職・進学希望者が進路を決定できた。きめ細かな小論文・面接指導や進路補習を徹底させ、さらなる充実に繋げる。また、インターンシップを有効活用し、キャリア教育を充実させる。	・きめ細かな指導とインターンシップの有効活用により、進路意識を高めるとともに、3年次生全員の進路決定を目指す。	<ol style="list-style-type: none"> ① 系統的進路指導等、より充実させたものにする。 ② きめ細かな指導により、3年生全員の進路を決定させる。 ③ インターンシップを多面的に活用し、進路意識の醸成を図るとともに、望ましい勤労観・職業観を育成する。 ④ キャリア教育を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 系統的進路指導等、進路指導が充実したか。 ② きめ細かな指導により、3年生全員の進路が決定したか。 ③ インターンシップの多面的な活用により、進路意識の醸成と望ましい勤労観・職業観を育成できたか。 ④ キャリア教育が充実できたか。 	進路決定等ほぼ達成 ①②系統的な進路指導等充実した指導が行われた。また、就職希望者のほぼ全員の進路が決定した。(未定者4名) ③インターンシップ実施後の生徒の感想では、「勉強になった」が約98%あり、進路意識の醸成等成果が得られた。 ④キャリア教育の充実までは至らない。	A	<ol style="list-style-type: none"> ①②生徒が、より高い進路意識をもち、それを実現させるための指導を組織的に進める必要がある。 ③多くの成果が得られるインターンシップを今後も更に充実・発展させる。また、その成果を多面的に活用する取組も必要である。 ④あらゆる教育活動をとおして、実践していく必要がある。
4	HP(ホームページ)や学校説明会により、充実した情報発信ができた。その結果、入学者を確保できた。「地域連携型総合学科」として、特色ある教育活動の充実に努めるとともに、地域の教育力を本校の教育活動に活用する。	・地域の教育力や外部評価・意見を活用し、本校の教育力を高めるとともに、HPや学校説明会等による情報発信を充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の行事に生徒を積極的に参加させる。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾訪問等の情報発信を充実させ、入学者を確保する。 ③ HPによる情報発信をさらに充実させ、本校の理解者を増やす。 ④ 学校評議員会等、地域の意見を本校の教育力向上に生かす。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の行事に生徒が参加できたか。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾訪問等を充実させ、入学者を確保できたか。 ③ HPによる情報発信が、本校理解者の増大に繋がったか。 ④ 学校評議員会等、地域の意見を収集し、活用できたか。 	地域連携等ほぼ達成 ①地域主催の行事に生徒が参加し、多くの成果を収めた。 ②学校説明会等を充実させた結果、志願者数調査で1.05倍だった。(1月発表) ③HPによる最新の情報発信により、本校理解者の増大や志願者の確保に繋がった。 ④学校評議員会等、地域の意見を課題として対応した。	A	<ol style="list-style-type: none"> ①今後も、地域の行事に参加させ多くのことを体験し学ばせたい。 ②中学校訪問や学校説明会等を更に充実させ、地元中学校を中心に多くの受検者を確保したい。 ③HPによる最新の情報発信を継続し、更なる本校理解者と入学者の増大に繋げたい。 ④学校行事等を活用して、PTAや同窓会、地域の方に来校していただき、意見等を直接収集する。

実施日	平成29年 2月 9日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○生徒のマナーは良くなり、落ち着いてきている。学校全体が良くなっている。 ○生徒を褒めて伸ばす指導をもっと取り入れることも大切である。 ○学習態度は良いが、家庭学習が少ない。生徒にはもっと勉強してほしい。教職員には、生徒の学力を伸ばす指導を工夫してもらいたい。 ○アクティブ・ラーニングの積極的な取組とその活用を期待する。 ○授業を参観して、数学では実生活に役立つ割合の計算を扱っていること、英語では英語の楽曲を聴かせるなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されていると感じた。</p> <p>○生徒には、もう少し明るく元気に活動してほしい。全体的に挨拶は向上しているが、学校外ではまだ十分ではない。 ○ボランティア活動に積極的に参加してほしい。また、部活動への参加意欲は、地域の行事への参加に繋がると思う。 ○自分の高校時代を思い出すと、友人関係はとても大切だと感じる。生徒には、友だちを作り、大事にしてほしい。 ○学校には、生徒の悩み等に対応する相談体制を整備し、充実させてほしい。</p> <p>○事務職は、求人が少ない。女子生徒には、就職先として製造職を選択肢に加えてほしい。 ○高い進路意識は、自分を伸ばすことができる。自分の可能性を追求し、伸ばすために勉強してほしい。 ○本県の就職の求人数は多く、地元で就職先を見つけることができる。</p> <p>○花いっぱい運動等の三校(寄居中学校、桜沢小学校、寄居城北高校)合同事業は、多くの成果を上げているので、今後も継続してほしい。 ○事務室前のモニターで、学校紹介の動画を映しているが、本校をよく理解してもらうには、非常によいと思う。 ○コーラス部等による産業祭等の地域行事への参加はありがたい。今後も、継続してほしい。 ○地域との交流事業に、生徒がまとめ役として活動することにより、もっと多くの成果を上げることができると思う。</p>